田村明美議員
（日本共産党）

市民病院の建替整備計画について

問　匝瑳市民病院の建替整備計画について伺う。

答　「市長」建設場所は、八日市場駅南側の市道１０２８号線の東側とする。全病床70床のうち、一般病床35床、地域包括ケア病床35床。現在の内科、消化器内科、循環器内科、呼吸器内科、外科、消化器外科、整形外科、リハビリテーション科、泌尿器科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科の12診療科を標榜する。全病室を個室にする。療養環境の向上、病床運営面でもメリットが大きい。一般患者と動線を分け、検診を安心して快適に受けられるような環境を目指す。本年９月までに用地取得のめどをつけ、10月から来年６月までに基本設計、来年７月から令和８年６月までに実施設計、令和８年７月から令和９年12月まで工事施工、令和10年度の開院を見込む。医療スタッフは、少なくとも現状の人数を確保できるよう努める。概算総事業費は76億２、３３４万円を見込むが、物価上昇により変動の可能性がある。財源は、国庫補助金29億１、０００万円、県補助金２億８、６６６万円、起債は38億７、０７０万円を予定。

答　「市民病院事務局長」旭中央病院との医療連携協議会において、人口推計に基づく患者数の減少、旭中央病院からの転院患者数（13床）を勘案し、検討した結果、70床とした。

問　婦人科外来の開設を匝瑳市民病院に求める。

答　「市民病院事務局長」産婦人科医師自体が減少し、確保は大変難しい。

問　市民の子宮がん検診の対象者数と受診者数を伺う。

答　「健康管理課長」令和３年度は対象者８、４５６人に対し受診率31・７％、４年度は８、２１１人に対し30・７％、５年度は８、６７７人に対し28・４％であった。

問　集団検診は子宮頸がん検診に限られ、その他の検診は婦人科受診が必要であるが、市内に婦人科は２件しかない。子宮頸がんは、早期発見すれば完治できるとされるが、検診の受診は30％程度である。婦人科外来を、何としても市の努力で設置する必要があると考えるが。

答　「市民病院事務局長」これはしっかり病院内のほうに話を持ち帰って、検討していきたい。

近藤魁人議員
（匝る風）

ＪＲ八日市場駅の駐輪場について

問　近隣自治体の状況を踏まえ、利用者と事業者、そして市役所が歩み寄れるような方策は必ずあると考える。

今後のＪＲ八日市場駅の駐輪場に対する考えは。

答　「市長」様々な市民の声もいただいている。

現在利用されている学生、またその親、さらには民間事業者との関係性等様々なものがあるので、今後も調査・研究をしてまいりたい。

スポーツ振興について

問　市の施設・設備に危険な箇所があった場合、市の対応はどのようにしているか。

答　「生涯学習課長」危険な箇所があった場合、一時的に使用を控えていただく、または修繕、応急措置等、軽微なものは早急に対応している。

問　平和東公園のフェンスが老朽化しており危険だという意見をいただいた。

市としてどのような対応を取っているか。

答　「都市整備課長」御指摘の都市公園野球場については、過日、職員による応急補修の対応をしたところ。

劣化が進んでいる箇所もあることから、必要な改修について検討を行ってまいりたい。

市民病院について

問　近隣の多古中央病院や東陽病院も、経営強化プランを作成しており、匝瑳市民病院と同様の規模感で、課題感についても非常に似ている。

同じ課題を抱える病院同士、より踏み込んだ具体的な連携協議を検討していただけないか。

答　「市民病院事務局長」確かに東陽病院、多古中央病院、匝瑳市民病院の３病院は規模や機能が似ており、それぞれ抱えている課題も近いということで、連携が重要とは考えている。

ただし、現状では、事務サイドでの様々な協力体制は取っているものの、医療連携というところまでは全く話は進んでいない。

まずは旭中央病院との連携を優先的に考えている。

ＱＲコードを読み取ると質問した議員の録画映像が視聴できます。